

平成24年度 文部科学省委託・埼玉県教育委員会委嘱

「栄養教諭を中核とした食育推進事業」

発表テーマ

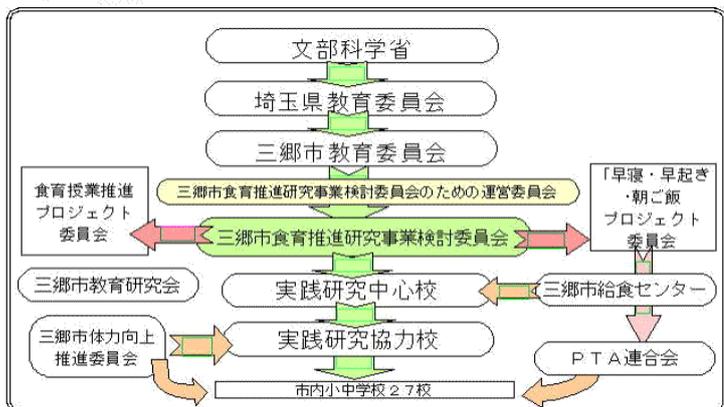
栄養教諭が中核となった教科・領域における「食」に関する指導のあり方。
学校・家庭・地域社会との連携による「早寝・早起き・朝ご飯」に関する取組。
三郷市教育委員会

1 はじめに

子どもが健やかに成長していくためには、「適切な運動、調和のとれた食事、十分な休養・睡眠」が必要である。しかしながら「よく体を動かし、よく食べ、よく眠る」という基本的な生活習慣が欠如しているという課題もある。基本的な生活習慣の乱れは、学習意欲や体力、気力の低下の要因の一つとなっている。このことから、「食に関する指導」を切り口とし、全教育活動を通じた学校における積極的な食育の推進と、学校・家庭・地域社会が連携した児童生徒の望ましい生活習慣の形成を目指して、次のテーマを設定し、以下に示す事業体制に基づき取組を推進した。

テーマ1 栄養教諭が中核となった教科・領域における「食」に関する指導を推進する。

テーマ2 栄養教諭を中心とした学校・家庭・地域社会との連携による「早寝・早起き・朝ご飯」に関する取組を推進する。



2 取組

(1) 研究センターの取組

テーマ1 栄養教諭が中核となった教科・領域における「食」に関する指導を推進する

ア 三郷市立鷹野小学校の取組

① 栄養教諭と実施した食育の授業を活用し、家庭での定着をはかる。

4年生・「やる気、元気が出るカミカミ大作戦」の食育学習の実施

学校保健委員会・・・噛むことと脳の活性化についての学習会

PTA厚生成人教育委員会・・・噛む回数増加のための食事についての学習と調理実習
「かみかみ習慣（週間）」を実施し、1週間実施（一口20回噛むことを目標に）

② 手作り教材を活用し、児童自らが自分の健康について考える授業を実践する。

5年生・家庭科「元気な毎日と食べ物」

五大栄養素が、自ら好んで食べる食事にバランスよくとれているかを、5色の玉を活用した教材で確認させる。



4年生・保健学習「体の発育～よりよい発育」

自分の一週間分の生活の中に、栄養（赤）・運動（青）・睡眠（白）がバランスよく入っているか、確認させる。

イ 三郷市立新和小学校の取組

①実験実習を活用した授業を実践する。



3年生・学級活動「ジュースの飲み方について考えよう」

飲み物の必要性と正しい選び方について気づき、量や組み合わせを考え飲もうとする意欲を持たせる。

↓干し芋を噛んで口の中を



4年生・学級活動「よくかんで食べよう」(学校公開日に合わせて、保護者に授業公開)

自分の食生活をふり返り、よくかんで食べる習慣を身につけさせる。

ウ 三郷市立八木郷小学校の取組

①給食時間におけるワンポイント指導

45分間の授業を実践するとともに、給食時間を利用して、ワンポイントの食育授業を実践する。(紙芝居型の手作り教材を活用)

10月「感謝の気持ちを持とう」～残さず食べよう

三郷市産の小松菜、長ねぎが給食で使用される時期に合わせて実施。



テーマ2 栄養教諭を中心とした学校・家庭・地域社会との連携による

「早寝・早起き・朝ご飯」に関する取り組みを推進する

三郷市立鷹野小学校「早起き学習会の実施」の取組(8月・9月・10月の3回実施)



6時40分 ラジオ体操
6時50分 朝食準備
*朝食の効果について指導(栄養教諭)
7時00分 朝食
7時30分 学習
8時10分 下校指導

3 おわりに

○市内栄養教諭が中核となり、作成した年間指導計画に基づき、市内小学校全ての学級で食育の授業が実践できた。

○「早寝・早起き・朝ご飯」に関する取組は、研究センター校の実践が、市内小中学校に発信され、各校で様々な取組が行われた。